

# 福井県職員デジタル人材育成方針について

## 1 方針策定の目的

本県では、令和3年3月にDX推進の方針として「福井県DX推進プログラム」を策定しており、これまでも職員の意識改革や体制構築等を実施してきた。

今後、DXの取組をさらに全庁的に拡大させるため、DXの主体となる職員の育成についての方針を策定し、体系的に取り組んでいきます。

### 福井県DX推進プログラム

**目指すビジョン** 福井県の将来を持続可能なものとするため、即効性が高い手段であるDXを早期に活用  
**行動規範** みずから変える（全庁を挙げて、DXありきで政策立案や業務の遂行・改善に取り組む）

#### 現状

- ・ 26所属80業務でローコードツール等を活用した業務改善（システム内製化等）が進行
- ・ 庁内DXコミュニティに1,000名超の職員が参加し、職員同士の自発的な情報共有が拡大

全庁的な取り組みへ拡大

### 『福井県職員デジタル人材育成方針』（R5.2.1策定）

**目的：**DXの主体となる「デジタル人材」の育成を体系的に推進

**内容：**求める人材像やスキル等を設定し、その習得に向けた育成プログラムや進捗評価体制を整理

<整理を図る観点>

- ①求める人材像、
- ②スキルマップ、
- ③育成プログラム、
- ④評価体制

## 2 DX推進人材の定義

本方針では、DXを推進するために必要な役割（要件・スキル等）を職員の役職ごとに4区分で整理します。

役割区分	役職	必要な要件	スキルマップ
<b>推進マネジメント層：</b> 各所属のDX推進の責任者（意思決定権者）として、デジタル技術等を活用した事業推進の監理、DX推進目標の策定、体制構築および人材の適切な配置育成を行う。	<b>管理職</b> ・課長級 ・参事級 等	・戦略 ・組織運営	i リーダーシップ ii 人材育成 iii 組織文化の変革 iv インシデント管理
<b>プロジェクトリーダー層：</b> デジタル技術等を活用した牽引役として事業推進を行う。	<b>主任 以上</b> ・総括補佐級 ・課長補佐級	・プロジェクト運営 ・専門スキル	i プロジェクトマネジメント ii DX実践知識 (UI/UXデザイン、データ分析、クラウド、IoT、AI、ネットワーク、内製化、デジタルマーケティング等) iii DX推進ノウハウ
<b>DXリーダー：</b> 各所属のDX推進目標遂行に向けた支援を行う（そのための高度な知識・技術習得、伴走・実践を含む）。	<b>一般職員</b> ・主査級 ・一般職員 等	・リテラシー ・知識	i DX基礎知識 (デジタル技術、データ利活用、デザイン思考) ii 業務改善 iii システム開発・運営 (アジャイル開発・IT調達等) iv EBPM
<b>一般職員：</b> 必要となるマインド、知識・リテラシーをもって、実務への参画・遂行を行う。		・マインド ・デジタル体験	i DX推進マインド ii 実務活用例 iii 情報セキュリティ・コンプライアンス iv ハンズオン型実践

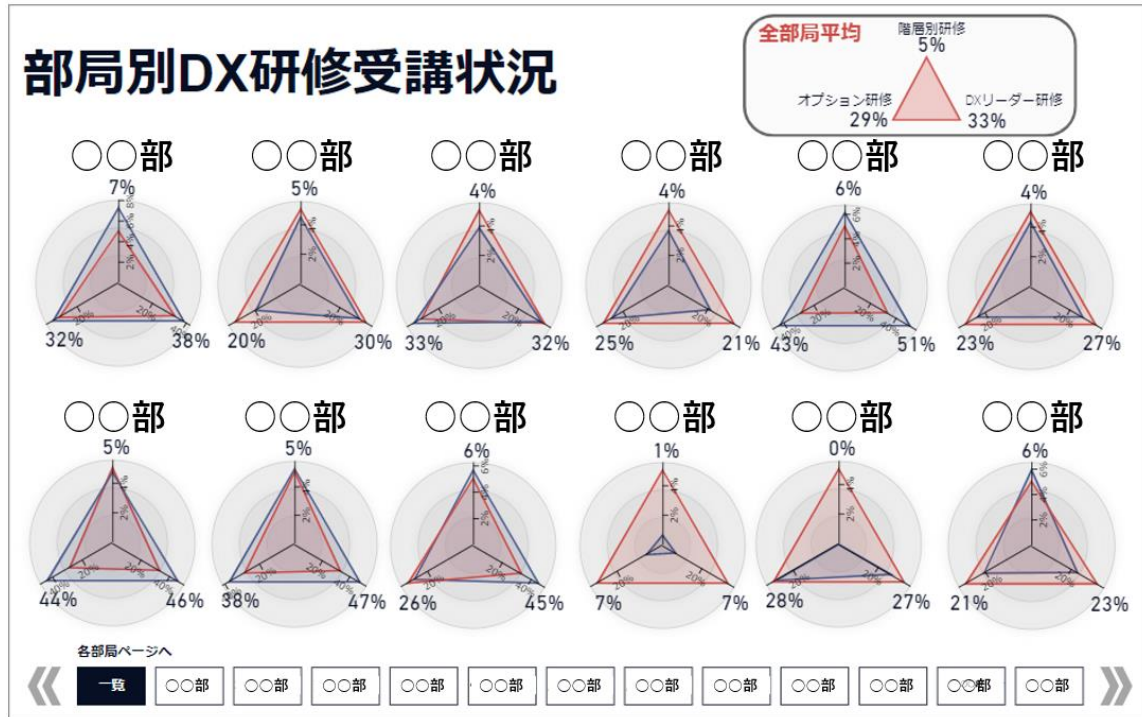
## 3 育成プログラム

役割区分ごとに求められるスキルに応じ、必須研修および選択研修を用意。体系的に研修を進めます。

# 4 評価体制

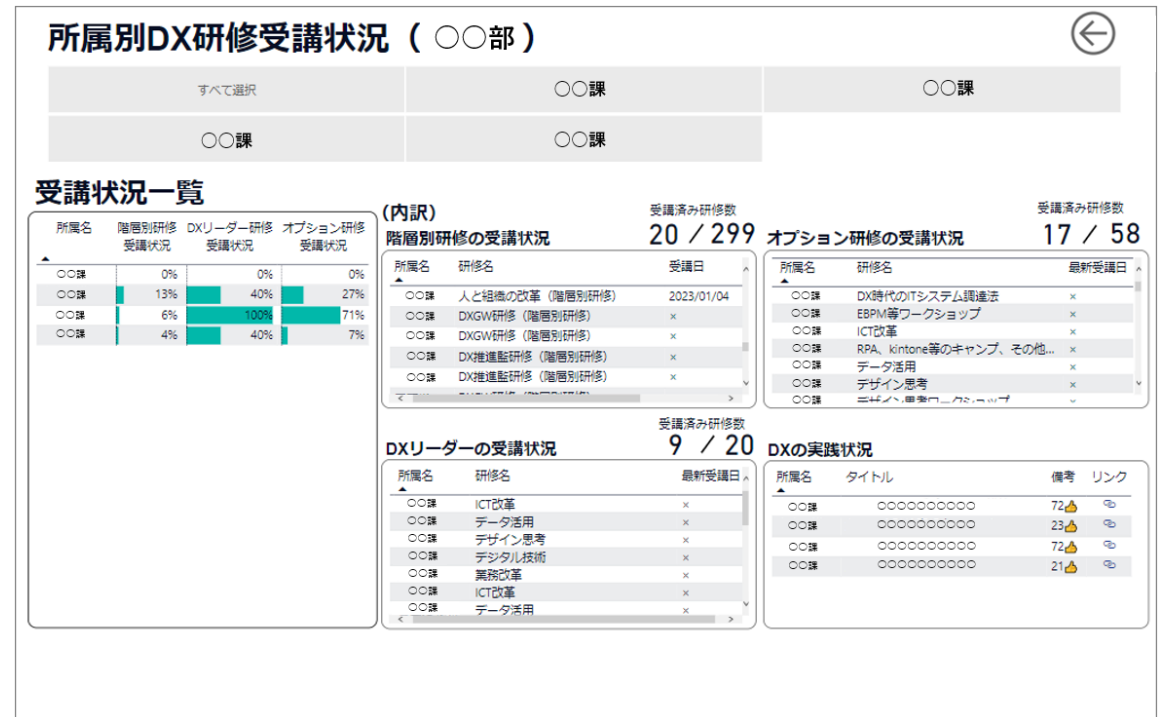
部局別・所属別の研修受講状況を、ダッシュボード形式により可視化します。

## ①部局単位で可視化



※画像はイメージです。

## ②所属単位での可視化



※画像はイメージです。